

## 武豊町地域公共交通会議 第33回 議事録

日時：令和元年12月25日（水）10：00～12：00

場所：全員協議会室

○司会（防災交通課長）

・それでは時間となりましたので、ただいまから「第33回武豊町地域公共交通会議」を開催させていただきます。

・資料確認

（資料確認、机上配布：新しい時刻表、運輸局からの資料等）

・10月1日よりダイヤ改正して運行している。

・それでは、会議資料の次第に従い、取り進めさせていただきます。

はじめに、開会にあたり、会長の靱山芳輝武豊町長よりごあいさつ。

### 1. 会長あいさつ

○靱山町長

- ・おはようございます。年末のお忙しい中、交通会議に参加いただきありがとうございます。
- ・日頃はそれぞれのお立場からご支援、ご協力いただきありがとうございます。
- ・10月1日より70歳以上の高齢者の方、65歳以上の運転免許証を自主返納していただいた方に対して、無料乗車とする施策をしております。1,000人を超す申請があります。引き続き、免許返納者の推移について注視していきたいと思っております。
- ・町としては、公共交通が自動車に代わる生活交通となるように事業展開をしております。
- ・10月1日より運行経路やダイヤを変更しましたが、特に遅れ等もなく安全運行ができています。コミュニティバス青ルートについては、これまでの最も多い利用がなされました。前年同月比10月で400人、11月は700人の増となっています。
- ・武豊町の町民の皆さんに利用される公共交通の提供を進めたいと考えており、本日の会議は、報告事項5件、議案2件について協議させていただきます。
- ・忌憚のないご意見をお聞かせ頂き、事業を進めさせていただきたい。よろしく願いいたします。

○司会（防災交通課長）

・委嘱状の配布 フジキュー整備久野精司委員と安全タクシー森川栄二委員

・過半数を超える委員の出席であり、規約に定める（第6条第3項）開会要件を満たしている

○伊豆原座長

・次第により進める。

## 2. 議事

### ●報告事項1 武豊町コミュニティバス・タクシーの利用実績について

○伊豆原座長

- ・報告事項1の「武豊町コミュニティバス・タクシーの利用実績」について、事務局から説明。

○事務局 説明

○伊豆原座長

- ・ご意見、ご質問はないか
- ・利用者数が増えているよい報告で。引き続き、地域の方に利用いただき、外出機会を増やして欲しい。
- ・報告を受けたとして、確認したとして進めてよろしいか。

### ●報告事項2 無料乗車券の交付実績について

○伊豆原座長

- ・報告事項2の「無料乗車券の交付実績」について、事務局から説明。

○事務局 説明

※今月に入って合計 1,055 人の申請累計。

○伊豆原座長

- ・ご意見、ご質問はないか。
- ・健康寿命の話があるが、登録された方にどういう形でよかったか、外出機会が増えたか、医者に行く機会が減ったかなど、時間をかけてもよいので実態調査をして頂きたい。その整理から皆さんの興味も高まると思う。追跡調査を行いデータをとってほしい。
- ・モビリティマネジメント会議でも医療費の軽減につながった事例が報告されているので、武豊町の実態を調査してください。
- ・報告を受け確認したとして進めてよろしいか。

### ●報告事項3 令和元年度に実施した住民アンケート結果について

○伊豆原座長

- ・報告事項3の「令和元年度に実施した住民アンケート結果」について、事務局から説明。

○事務局 説明

○伊豆原座長

- ・ご意見、ご質問はないか。

○木村委員

- ・アンケート結果は、予想した結果と同じ結果だった。
- ・高齢者はいずれ自動車を手放すと思うので、公共交通の制度があること、安心感がもてることが大切で、その結果がアンケートで示されていた。コミュニティバスをずっと続けてほしい。

○伊豆原座長

- ・アンケート調査ではいくつまで自動車を運転されますかという質問をしている。
- ・自動車と対立するものではなく、車とあわせて生活の質をいかに高めるか、安心感などの視点を大切にしたい。是非目を通していただき、地域の方と結果を共有いただければと思う。
- ・他にご意見等ないか。無いようなので、確認したとして次に進めさせていただく。

●報告事項4 産業まつりで武豊町コミュニティバス・生活の足を考える会が実施した

アンケート結果について

○伊豆原座長

- ・報告事項4の「産業まつりで武豊町コミュニティバス・生活の足を考える会が実施したアンケート結果」について、櫻場委員から説明。

○櫻場委員（生活の足を考える会）

- ・産業まつりのブースで、200人の方に声掛けして調査しました。回答者の年代は60歳以上が多い。
- ・ゆめころんの認知度は99%で、利用促進友の会の当初の役割は達成できたと思っている。
- ・生活の足を考える会として、見直しについて意見を聞いた。
- ・知っているが乗っていない実態が分かる。利用者の利用目的はレジャー。乗らない理由は車があるからという理由。車があるうちはバスに乗らない。高齢者が事故を起こさないように、転換させる必要がある。
- ・利用しにくい点は、近くにバス停がない、1周する時間が長い、片方向で不便などの意見が多い。近くにバス停があれば乗るのかどうかという点は、住民アンケートで聞いているが利用転換は低いと思う。そのため、歩きやすい、自転車が乗りやすいなどの、別の方法で移動できる環境を整えることも考えないといけないと考えている。
- ・自由意見で具体的な意見を頂戴した。こうした意見を参考に、生活の足を考える会で議論していきたいと思っている。

○伊豆原座長

- ・ご意見、ご質問はないか。
- ・バス停を増やす、本数を増やす、両方向にするというのは、コストがかかる。コストをかけた分だけ利用が増えるかは微妙。やはり1度利用していただくと、見方が変わるかもしれない。
- ・免許返納されるには、ゆめころんが使えるという実感を持つ、行動に移してもらう機会が必要で、櫻場委員の会に期待したいと思う。皆さんで考えていただく機会として役立てたい。
- ・他にご意見等ないか。無いようなので、確認したとして次に進めさせていただく。

●報告事項5 障がい者手帳所有者のバス運賃割引制度の取り扱いについて

○伊豆原座長

- ・報告事項5の「障がい者手帳所有者のバス運賃割引制度の取り扱い」について、事務局から説明。

○事務局 説明

○伊豆原座長

- ・ご意見、ご質問はないか。

○平井委員代理（愛知運輸支局）

- ・改定時期の見通しは、いつぐらいか。可能性として4月もあるという理解で良いか。

○事務局

- ・はいそうです。

○伊豆原座長

- ・割引運賃制度の導入は、協議事項となる。愛知運輸支局にも報告する必要がある。
- ・事務局でこの方向を進めると庁内で決裁したら、4月に始めるとすると、30日前の決議、申請が必要となる。愛知運輸支局と調整して確認を行うことが必要。

○木村委員

- ・介助者は今は無料。障がい者と介助者の両方とも無料をお願いしたい。

○防災交通課長

- ・障がい者と介助者の両方とも無料の自治体も多く、事務局はその方向で考えている。

○伊豆原座長

- ・障がい者手帳の表示の義務化は忘れることもあり徹底させるのはどうかと思うので、上手な運用をお願いしたい。

○事務局

- ・運行事業者と調整をとり上手な運用を考えたい。

○伊豆原座長

- ・それでは制度の導入の方向で進めるよう、よろしく申し上げます。

## 2. 議事

### ●議案第1号 車両更新計画(案)について

○伊豆原座長

- ・第1号議案の「車両更新計画(案)」について、事務局から提案を。

○事務局 説明

○伊豆原座長

- ・ご意見、ご質問はないか。

○平井委員代理(愛知運輸支局)

- ・車のサイズで認可しているので、車両が大きくなると変更手続きが必要。予備車両が大きいので問題ないかもしれないが、確認が必要。

○事務局

- ・運行事業者のフジキュー整備の予備車両はレインボーで登録している。このレインボーより更新車両は小さいので、変更申請及び警察協議は問題ないと認識している。

○児玉委員代理(愛知県)

- ・国の補助が受けられる。愛知県バス対策協議会で協議して、国の補助金申請を進める。申請手続きにおいて、前降りとするか、運賃100円を先払いとするか、その内容を確認しておきたい。

○事務局

- ・運賃は先払い、前乗り、後降りを想定している。

○天木委員

- ・着座数が少ないので問題がないか。購入価格もあるが、3台体制としないか。

○事務局

- ・座席数は、11人より増やすことができる。メーカーと調整して、座席数を決めたい。
- ・現在集中して利用するのは高校生で、利用者に高齢者に座席を譲る車内マナーの啓発もしていきたい。
- ・車両購入価格は消費税の増加、本体価格の増加がある。国の補助金を使い、町の負担を減らす努力をする。3台体制については、住民の声や利用者数を参考に、今後検討していくこととしたい。

○伊豆原座長

- ・補助金はいくつかあると思うが。

○児玉委員代理（愛知県）

- ・町が購入して貸渡す、事業者が購入して使用する2つの方法がある。補助額は共通なので、どちらを使うかは町の判断による。

○伊豆原座長

- ・両者検討したうえで導入を。
- ・赤ルートで10月からダイヤ等改正して利用が増えているので、2枚ドアの導入が必要だと思う。利用が増えることは喜ばしいが乗降時間が増えることになる。高齢者の方が手押し車などを使われていると乗降時間も長くなり、こうした利用も想定した乗降時間とすることが重要だと思う。
- ・櫻場委員の会でも車両の選択確認をしていただいたらよいかと思う。
- ・発注して導入までの時間はどうか。

○事務局

- ・発注から半年で納車ができると聞いている。予算確保ができ次第、速やかに導入したい。

○伊豆原座長

- ・手続きは大変ですがスムーズな導入をお願いします。
- ・来年度の赤ルートのポンチョの更新について、了承してよろしいか。

<異議なし>

○伊豆原座長

- ・全員の了承を得たとして確認した。

## ●議案第2号 令和元年度地域公共交通確保維持改善事業の自己評価について

○伊豆原座長

- ・第2号議案の「自己評価」につきまして、事務局から提案をお願いします。

○事務局 説明

○伊豆原座長

- ・補足する。8-1は中部運輸局独自のもの、8-2は全国共通の様式のもの、8-3は県の様式。毎年この会議で承認して提出するもので、1月22日までに国に提出することになる。
- ・ご意見をいただき、修正があれば会議はなかなか開けないので会長・座長と事務局に一任いただき、提出事務を進めたい。

○児玉委員代理（愛知県）

- ・愛知県は、8-3の県の様式で、63路線とりまとめ、国に提出する。
- ・来月開催する県の協議会で協議して確認することになっている。

○伊豆原座長

- ・第三者評価委員会に、武豊町は出席して報告することになっている。
- ・ご意見、ご質問あるか。
- ・中部様式の6頁で乗合タクシーが未達成になっている。青ルートを運行させたところで、未達成ではあるが寺西のバス停留所設置もあり、考察を加えて利用につながっている点を説明しておくべきではないか。

○事務局

- ・寺西は毎月70人の利用があるので利用促進につながっている。記載については検討し、会長と調整させていただく。

○伊豆原座長

- ・利用につながっているので考察を加えること。表現については後で調整を。
- ・計量計画研究所と計量計画技術研究所の2つの表現があるので統一するように。
- ・櫻場委員の生活の足を考える会に名称変更したことについて、アピールポイントの中で認知度を達成して、新しいステージに移っていることについて記述しておいてほしい。

○事務局

- ・指摘の点について対応させていただく。

○児玉委員代理（愛知県）

- ・県でも事業評価のとりまとめ、分析をしているところ。
- ・青山駅に乗り入れされました。半田側の知多乗合バスの空港への乗り入れ、半田市のコミュニティバスの運行で、青山駅が結節点になっている。想像以上の利用が増え、結節点としての効果が高かったと思う。

○伊豆原座長

- ・複数の関係者で調整して、結節点の強化がされたよい事例だと思う。地域のみなさんで、この良い事例を話題にさせていただき、広めていただければと思う。
- ・それでは、自己評価について、ご了承をいただいたとしてよろしいか。

<異議なし>

○伊豆原座長

- ・ありがとうございました。少し文言の修正がありますが、その点は、会長・座長と事務局とで調整して国県に報告させていただく。

### 3. その他

#### ■Google Maps へ本町のバス路線情報の提供について

##### ○事務局

- ・GTFIS データ化して Google Maps での検索が可能となった。半田市でも進めていると聞いている。半田市とは情報網でも接続できることになる。

##### ○伊豆原座長

- ・検索の仕方について具体的に紹介いただけるとよいと思う。

##### ○事務局

- ・町のホームページに使用方法など掲載している。

##### ○伊豆原座長

- ・是非利用を。

#### ■武豊町コミュニティバス・生活の足を考える会の活動計画等

##### ○櫻場委員

- ・バスに乗ったことが無い人が多いので、憩いのサロンに高齢者が集まっているので、サロン参加後のランチツアーを開催した。5回計画の内、1箇所6人の参加があった。継続していこうと思っている。
- ・生活の足を考える会の会員がまだ少ないので、産業まつりに声かけして4人増えた。仲間を増やして活動の幅を広げていきたい。
- ・活動の目標としては、バスだけに頼っているのでは免許証返納に至れないので、バス以外の移動の手段を考えようと思っている。タクシーが便利なので、お得感が持てる、タクシーの利用を検討したい。車を持つよりもタクシー利用の方が安い。通勤利用がない人を対象に、歩道環境、トイレなどの待合環境、自転車利用などを検討する活動を考えていこうと思っている。

#### ■MM 技術講習会での発表と日本モビリティマネジメント会議でのポスター発表

##### ○事務局

- ・報告

##### ○伊豆原座長

- ・武豊町の活動を発表いただくことで、全国の事例との交流が進む。発表の継続をお願いしたい。

#### ■その他資料

##### ○平井委員代理（愛知運輸支局）

- ・「運行計画どおりに、路線バスを運行していますか」他の地域の事例で運行中断があった。処分対象となる。武豊町では巡回路線なので馴染まないが、事前の運行計画の届け出をすれば問題ない。
- ・バストラック就職相談会のイベント企画をしている。

○栗木委員代理（バス協会）

- ・バス運転士合同就職説明会を実施する。

○伊豆原座長

- ・新しい時刻表について配布場所の紹介を。

○事務局

- ・公共施設等で配布している。

○伊豆原座長

- ・その他ご報告等が無いようなので、議事は以上で終了したいと思う。

#### 4. 閉 会

○事務局

- ・伊豆原先生、議事進行ありがとうございました。  
閉会にあたり、町長よりごあいさつを。

○初山町長

- ・車両更新計画について10月を目途に赤ルート導入の議論を行った。車両更新を進めることでよりコミュニティバスに一層親しんでいただけるものと思う。
- ・青ルートについても、さらなる利用に向けた対応を実施する。
- ・生活の足を考える会で憩いのサロンのランチツアーなどを進めていただいているので、我々でもPRを進める。
- ・生活の足として定着するように事業の推進を図る。

○司会（防災交通課長）

- ・以上で「武豊町地域公共交通会議」の第33回会議を終了する。

以上